

学習内容報告書 フォーマット

学校名	能登町立松波小学校
授業者	和嶋 陽一, 岡本 賢志郎

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「海の資源を活かす取り組みに触れよう」

1-2. 学年

5年, 6年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

イカさばき体験を通して、イカの体のつくりと働きを知る。また、水産業に従事している人々の仕事について知る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

地元特産物であるイカの一夜干し体験を通して、海洋資源の有難さを知るとともに、海洋資源を活用している人たちにも関心をもつ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

生き物と触れ合う活動を通して、命の尊さに気付くとともに、身近な海の恵みに気付く。

1-7. 単元の展開（全 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 . 2	<ul style="list-style-type: none"> ・イカの体のつくりについて学ぶ。 ・一夜干しの工程を学び，イカを実際にさばく。 	外部連絡：「能登町農林水産加工センター」 身近な生き物に関心を持ち，その生き物に関わろう としている。【態】

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

地元特産物であるイカの一夜干し体験を通して、海洋資源の有難さを知るとともに、海洋資源を活用している人たちにも関心をもつ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 活動にあたっての確認をする。</p>  <p>2. イカをさばく。</p> <ul style="list-style-type: none">思ったよりイカがぬるぬるしていたり、本物の内臓にびっくりしたりして、はじめのうちはなかなかうまくさばくことができなかった。何度か挑戦するとだんだんさばくコツをつかみ、さばくのが楽しくなってきたようだった。普段は寿司や刺身、焼いたイカなどたくさん食べたことはあるが、イカをさばく体験はほとんどの児童が初めてだった。 	<ul style="list-style-type: none">「能登町農林水産加工センター」の方にイカのさばき方（包丁の使い方や内臓、メガラスの取り出し方など）を教えてもらう。さばいたイカは、「能登町農林水産加工センター」で職員によって一夜干し、真空パックされて、児童の手に届く。   

3. 今回の活動の自己評価

- ・「もっとイカのことについて知りたいな。」「これからイカを食べるのが楽しみだ。」と、興味関心がさらに高まった。
- ・地元特産物であるイカの一夜干し体験を通して、海洋資源の有難さを知るとともに、海洋資源を活用している人たちにも関心をもつことができた。

4. 今後の課題

- ・コロナ禍で安心して体験活動を行うにはどうしたらよいか、特に食べ物を扱うときは各関係機関と連携を取りながら慎重に対応していく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・イカを一人2～3ばいさばくことで、何度も挑戦するとだんだんコツをつかむことができた。(イカの漁獲高が減り、イカの値段が高騰している。)

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝，10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm，左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。